

授業コード : 22738

授業科目名 : Webシステム

受講者数: 36 名

担当教員名 : 長田 俊明

回答者数: 30 名

学 部 : 医療福祉 総合政策 科学技術 無回答

学 科 専 攻 : 理学療法 作業療法 言語聴覚 視覚機能 看 護

保健福祉 生活福祉 精神保健 総合政策 知能情報

人間環境 無回答

学 年 : 1年 2年 3年 4年 無回答

設 問 文	5	4	3	2	1	科目平均	大学平均
A:授業への取り組みについて	そうである	まあそうである	どちらともいえない	あまりそうとはいえない	そうとはいえない		
問1. 授業の欠席回数は何回でしたか ⑤0回 ④1~2回 ③3~4回 ②5~6回 ①7回以上	14	8	5	0	0	4.33	4.26
問2. 授業の他に学習活動(予習・復習・課題・レポートなど)をしましたか	10	12	6	0	2	3.93	3.53
問3. 授業を受講する前に授業概要を確認しましたか	5	10	9	1	5	3.30	3.48
問4. 授業内容でわからないことを先生に質問しましたか	3	5	13	4	5	2.90	3.30
B:学習環境について							
問5. 教室の設備環境(広さ、明るさ、外部からの雑音、実習器具など)は適切でしたか	3	12	9	6	0	3.40	4.12
問6. 受講学生数は(講義受講者数、演習・実習時の教員数など)適切でしたか	4	11	12	3	0	3.53	4.06
C:授業内容・方法・成果について							
問7. 授業は系統的に整理、準備されていましたか	3	15	12	0	0	3.70	4.06
問8. 授業内容は理解しやすかったですか	5	12	12	1	0	3.70	3.86
問9. 授業中に質問しやすい環境でしたか	3	6	14	7	0	3.17	3.66
問10. 教員が指定した教科書や参考書、教材や資料が適切で工夫がみられましたか	3	14	12	1	0	3.63	3.88
問11. 黒板の書き方、ビデオやスライドの使用は適切でしたか	5	13	11	1	0	3.73	3.87
問12. 授業中に声が十分に行き渡っていましたか	9	11	8	2	0	3.90	4.17
問13. 教員は授業中の静寂を保つために適切な配慮をしていましたか	4	10	13	3	0	3.50	3.99
問14. 授業のスピードおよび学習量は適切だったでしょうか	3	11	12	3	1	3.40	3.91
問15. 授業概要または授業始めに提示された到達目標は達成されましたか	6	6	15	2	1	3.47	3.89
問16. 授業内容は興味深く、知的好奇心を触発されましたか	3	11	14	1	1	3.47	3.91
D:授業の全般的印象							
問17. 教員の熱意を感じましたか	2	16	11	1	0	3.63	4.15
問18. この授業で専門的な知識や技術、または豊かな教養が身につきましたか	3	11	14	1	1	3.47	4.00
問19. 総合的に判断すると満足できる授業でしたか	3	11	14	1	1	3.47	3.99

学生へのメッセージ

全体をみると、評価が著しく低い項目があるわけではないが、「教室の設備環境は適切だったか」、「質問しやすい環境だったか」、「授業のスピードおよび学習量は適切だったか」の3つの項目については、「(あまり)そうとはいえない」という評点が比較的多くつけられている。まず1つ目については、学生一人当たりへの適切なスペースが確保できていなかったことが考えられる。設備環境の良し悪しは、学生の学習意欲に非常に影響することと思われるので、講義教室の再検討を含め、机や座席、演習機器のレイアウトについて改善したい。2つ目と3つ目については、講義内容の分量の消化することを重視するあまり、学生の理解状況を顧みず講義を進めてしまった可能性があり、これが低評価をもたらしたのかもしれない。説明のペース配分や間の取り方に注意し、質問のできる時間的な余裕と雰囲気をもたせられるように心掛けたい。

ちなみに、欠席回数が少なかった学生が多いというアンケート結果については、他の項目の評価が高いわけではないので、単純に当科目が必修科目であったためであると推測できる。今後は、必修かどうかに関わらず、学生の学習意欲・授業への純粋なる参加意欲を引き出すことでこのような評点を得られるよう努力したい。

以上、今回のアンケート結果を十分念頭に置き、今後も授業の質の向上に努力する次第である。

